

主要事業の概要

●は24年度新規事業
括弧内は予算書掲載ページ

1 総務費

(1) (仮称) 台東音頭普及啓発 (P. 143) 177万円

(総務課)

(仮称) 台東音頭の定着を図り、区民の地域に対する愛着を深めるとともに、台東区の魅力を広くアピールしていくため、平成24年度は区内の各地域で音頭の講習会を開催するほか、普及用DVDを作成する。

(2) 世界遺産登録推進 (P. 144) 900万円

(世界遺産登録推進担当)

国立西洋美術館の世界遺産登録実現に向けて、引き続き国や東京都と連携し、2011年の世界遺産委員会決議への対応について協議を行うとともに、改訂推薦書作成に向けた調査を実施する。

また、まちの機運を高めるため、プロモーションDVDの作成、区民講座の実施、情報コーナー展示等による周知・啓発活動の充実を図る。

(3) 地域防災力の強化／地域防災計画の修正 (P. 154)

地域防災力の強化 1, 498万円

地域防災計画の修正 600万円

(危機管理課・災害対策課)

東日本大震災の経験や対応を踏まえ、さらなる震災対策の充実を図り地域防災力の強化に取り組む。

総合防災訓練、避難所単位防災訓練、災害対策図上訓練、帰宅困難者対応訓練、地域防災スクールモデル事業を実施、地域防災計画の修正を行う。

区民や地域の自助・共助の取り組みを一層促進し、地域防災力の向上をはかるため、専門的知識を有する「防災普及指導員」を採用し、町会等が実施する防災訓練の現地指導や防災に係る取り組みに対し専門的なアドバイスを行う。自主防災組織で所有する防災資機材の取扱い講習などを、少人数や短時間でも実施し、資機材を扱える区民を増やす。また、自主防災組織の防災マニュアルの作成指導など、より積極的な支援を行う。

(4) 安全で安心して住める建築物等への助成 (P. 155)

9, 268万円

(建築課)

地震等災害時の被害を防止又は軽減するために行う耐震診断、耐震改修工事等について、その工事等を行う者に対し費用の一部を助成するとともに、木造住宅を対象に無料で耐震診断コンサルタントを派遣し、簡易耐震診断や耐震へのア

ドバイスをすることにより、耐震改修への関心度を高め、建築物の耐震性、安全性を向上させる。

平成24年度は、さらに積極的に耐震診断コンサルタントを派遣し、耐震改修へ誘導できるよう助成件数を充実した。

《耐震診断コンサルタント派遣》

△対象建築物

- ・昭和56年5月31日以前に建築された建築物
- ・2階建て以下の木造住宅

《耐震診断・耐震改修工事助成》

△対象建築物

- ・昭和56年5月31日以前に建築された建築物
- ・住宅は延床面積の1/2以上が住宅の用途であること

△助成金額

耐震診断

- ・木造住宅 診断費用の8/10（15万円以内）
- ・木造以外の住宅 診断費用の1/2（50万円以内）
- ・住宅以外の建築物等 診断費用の8/10（15万円以内）

改修工事

- ・重点地域内の住宅 工事費用の2/3（120万円以内）
- ・重点地域以外の住宅 工事費用の1/2（100万円以内）

《マンション耐震改修工事等助成》

△対象建築物

- ・昭和56年5月31日以前に建築された建築物
- ・非木造共同住宅で、耐火建築物又は準耐火建築物

△助成金額

耐震診断・実施設計

1 m²の費用単価(単価限度額あり)×延床面積の1/2

(3階以上かつ1,000 m²以上は200万円以内)

改修工事

1 m²の費用単価(単価限度額あり)×延床面積の1/2

(250万円以内、3階以上かつ1,000 m²以上は1,500万円以内)

《特定建築物》

△助成対象

多数の方が利用するホテル・事務所・店舗・飲食店等で、3階以上、1,000 m²以上の建築物等の特定建築物の耐震診断に要する費用

△助成金額

耐震診断費用の1/2(100万円以内)

●(5) 緊急輸送道路沿道建築物の耐震化助成 (P. 155)

5億1,706万円

(建築課)

緊急輸送道路沿道建築物は、災害時における多数の人の避難、救急・消防活動の実施、避難所への緊急物資輸送の確保を図る上で耐震化が急務である。また、東京都では緊急輸送道路のうち特に耐震化を図る必要がある道路を特定緊急輸送道路に指定するとともに条例に基づき耐震診断を義務化した。そのため、区ではこれまでの助成制度を拡充し、耐震

化へ誘導することにより、災害に強いまちづくりを実現する。
事業期間 平成27年度まで

《緊急輸送道路沿道建築物》

△対象建築物

昭和56年以前の緊急輸送道路沿道建築物で、地震により倒壊した場合にその道路の通行を妨げ、多数の者の円滑な避難を困難とするおそれのある建築物

△助成金額

耐震診断

- ・ 特定緊急輸送道路（平成25年度まで）

助成対象費用（単価限度額あり）の10/10

（助成対象費用（単価限度額あり）の1/3に770万円を加えた額以内、延べ床面積が15,000㎡を超える建築物は4/5以内）

- ・ 第二次・第三次緊急輸送道路

助成対象費用の1/2

（200万円以内、1,000㎡以下は100万円以内）

補強設計

- ・ 特定緊急輸送道路（平成26年度まで）

助成対象費用の5/6

（助成対象費用が600万円を超える建築物は1/2に200万円を加えた額以内）

- ・ 第二次、第三次緊急輸送道路

助成対象費用の1/2

（200万円以内、1,000㎡以下は100万円以内）

耐震改修

- ・ 特定緊急輸送道路（平成 27 年度まで）

助成対象費用の 5/6

（対象事業費が 3,000 万円を超え 6,000 万円以下の場合
は 1/2 に 1,000 万円を加えた額以内、6,000 万円を
超える場合は 1/3 に 2,000 万円を加えた額以内、延床
面積が 5,000 m²を超える部分については 1/6 以内）

- ・ 第二次・第三次緊急輸送道路

助成対象費用の 1/2

（1,500 万円以内、1,000 m²以下は 250 万円以内）

(6) (仮称)谷中防災・コミュニティ施設の整備 (P.182)

7,893 万円

（区民課）

平成 23 年度に作成した基本設計に基づき、実施設計及び
解体工事等を行い、「(仮称)谷中防災・コミュニティ施設」
の整備を進める。

△敷地面積 約 2,140 m² (予定)

△延床面積 約 3,000 m² (予定)

△建物規模 地上 3 階建て

△スケジュール

平成 24 年度 実施設計作成・図書室機能一部移転
(上野桜木会館)・解体工事着工

平成 25 年度 建設工事着工

平成 27 年 4 月 オープン予定

2 民生費

(7) 障害者相談支援システム (P.199) 3, 267万円

(障害福祉課)

障害者の地域生活への移行や定着への支援を実施するとともに障害者虐待の防止や支援の体制を整備することで、地域における総合的な相談支援体制を強化する。

△地域移行のための安心生活支援事業 (新規)

○地域移行推進重点プランの作成

○緊急時相談支援事業

(夜間や休日を含めた対応や相談体制)

○地域生活体験事業 (地域での体験的宿泊等を提供)

△障害者虐待防止事業 (新規)

○障害者虐待に係る相談体制整備

○一時保護のための居室の確保

○障害者虐待防止・権利擁護研修

○障害者虐待防止センターの整備 等

(8) 生活保護 (P.208) 217億7,128万円

(保護課)

資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、被保護者及び世帯の自立を助長する。

(9) 自立促進 (P. 209)

6, 274万円

(保護課)

被保護者又は被保護世帯の自立に要する支給対象経費を充実し、被保護者の自立を助長する。また、精神保健福祉士を配置することにより、精神疾患のある被保護者への支援の充実を図る。

3 衛生費

(10) 健康たいとう21推進協議会運営 (P. 215)

783万円

(健康課)

平成24年度をもって終了する「健康たいとう21推進計画(後期計画)」を評価・検証することにより、区民の健康課題を明らかにするとともに、国や都の動向を踏まえ、新たな目標設定と重点施策を盛り込んだ健康に関する計画を策定する。

△計画期間 平成25年度～29年度(予定)

●(11) 特定不妊治療費助成 (P. 228)

602万円

(保健サービス課)

東京都特定不妊治療費助成事業の承認を受けた区民に対し、平成24年度より上乗せをするかたちで特定不妊治療費を助成し、不妊に悩む区民の経済的負担の軽減を図る。

△助成対象者 東京都特定不妊治療費助成事業の承認を受けており、申請時に夫婦の両方又は一方が

台東区に住民登録を有する方で、他の自治体から同様の助成を受けていない方

△助成内容 治療1回につき5万円を初年度3回、次年度以降年度あたり2回、通算5年度計10回まで助成する。

(12) 精神障害者地域生活支援センター運営 (P. 230)

3, 089万円

(保健予防課)

地域で生活する精神障害者に対する相談支援や地域交流活動等の事業内容に加え、地域で生活することを希望する精神障害者に対して、一般住宅への入居に必要な支援を行うとともに、地域で安心して生活するための24時間・365日の相談支援を行うことにより、地域生活への移行と定着を促進する。

△事業内容

- 入居支援
- 24時間・365日の相談支援
- 居住支援等

(13) 動物保護管理等 (P. 233)

633万円

(生活衛生課)

飼い主のいない猫による地域環境の悪化や猫を巡るトラブルを防止するため、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費助成やボランティアの育成等により地域猫活動の支援を行う

ている。近年、町会等地域ぐるみでの地域猫活動への取り組みが広がっていることから、手術費助成について町会等地域団体申請枠を新設する。

△助成金額

1頭あたり上限 雄 5,000円、雌 10,000円

△助成頭数

○一般申請分 雄 100頭、雌 250頭

○地域団体申請分 雌 200頭

(14) 環境測定 (P.234)

1,310万円

(環境課)

大気汚染や騒音などの通常の測定事項に加え、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、教育施設や公園等の空間放射線量測定を実施する。

また、子どもの健康と安全のため、給食の食材等に含まれる放射性物質の検査を行う。

4 文化観光費

(15) G T S (藝大・台東・墨田) 観光アートプロジェクト (P. 246)

2, 003万円

(文化振興課)

東京藝術大学・墨田区との連携による地域型アートプロジェクトを、3年計画で実施する。東京スカイツリーのビューポイントに、東京藝術大学制作による環境アート作品を計12作品(台東区・墨田区各6作品)設置するほか、観光の視点を採り入れた複数のアートプロジェクトを地域において展開する「隅田川 Art Bridge」展を開催する。

計画の最終年度となる平成24年度は、環境アート作品を4作品(台東区・墨田区各2作品)設置し、東京スカイツリーとアート作品を巡る観光ルートを完成するほか、10月～11月にかけて「隅田川 Art Bridge 2012」を開催する。

本事業により、東京スカイツリー開業により注目を集める隅田川両岸地域の魅力をアートを通じて発信し、このエリアの新たな回遊と賑わいを創出する。

△時期 平成22年4月から平成25年3月

△場所 台東区・墨田区内各所、東京藝術大学

△主催 台東区、墨田区、東京藝術大学による実行委員会

(16) 東京スカイツリー開業 台東区記念 (P. 250)

4, 625万円

(にぎわい計画課)

東京スカイツリー開業を記念し、(仮称)たいとうにぎわいフェスティバル等の開催や地域団体が実施する事業に対し補助を行う。

区内全域で祝賀ムードを盛り上げるとともに、にぎわいの創出や回遊性の向上を図るべく、魅力的な記念事業を実施し、地域の活性化に繋げる。

△事業内容

- 隅田公園浮世絵行燈と点灯式
- (仮称)たいとうにぎわいフェスティバル
- 観光情報紙(仮称)「たいとう観光かわら版」の発行

(17) 浅草文化観光センター運営 (P. 252) 1億2, 621万円

(観光課)

観光案内所としては都内最大規模を誇る浅草文化観光センターを平成24年4月中旬にリニューアルオープンする。

新しいセンターでは本区の観光案内拠点として、4ヵ国語による案内や外貨両替所の設置などの機能強化を図りながら、国際観光都市である本区の魅力を広く国内外にPRするとともに、観光客のより一層の利便性や回遊性向上につながる運営を進める。

△所在地 雷門2丁目18番9号

△新センター開設時期 平成24年4月中旬

5 産業経済費

●(18) 商店街空き店舗活用支援 (P. 259) 185万円

(産業振興課)

商店街内にある空き店舗を借り上げて事業を開始する方に対し、家賃の一部を助成し、商店街の一体性を保持し、商店街の活性化を図る。

△助成対象者

区内商店街の空き店舗を借り上げて事業を行う中小企業者、及び創業する具体的な計画がある方等

△助成金額

助成対象経費の1/2以内(限度額5万円)

△助成件数

4件

●(19) 商品プロモーション支援 (P. 261) 150万円

(産業振興課)

区内に事業所を構えるデザイナーにデザインを依頼して、商品パッケージの製作や、商品のPRを図るためのカタログなどの印刷物の製作を行う製造事業者に対し、デザイン委託費用の一部を助成する。区内デザイナーと製造事業者との連携を支援することで、高付加価値を持った商品の開発と販売拡大を促進する。

△助成対象者

区内に本店所在地がある製造事業者

△助成金額

助成対象経費の1／2以内(限度額15万円)

●(20) 皮革製造技術者等養成支援(革靴製造業)(P.261)

200万円

(産業振興課)

「若手従業員養成計画」に基づき、従業員の能力向上を行う製靴事業者に対し、技能修得のための研修に要した経費の一部を助成する。

△助成対象者

区内に本店所在地がある製靴事業者

△助成金額

助成対象経費の2／3以内(限度額20万円)

6 土木費

(21) 電線類地中化モデル実施(P.271) 2億7,418万円

(土木課)

モデル事業路線を対象として電線共同溝を整備することによって、道路上の電線とそれを支持する電柱を撤去し、良好な都市景観の創出、安全で快適な歩行空間の確保、都市防災機能の強化を図る。

本事業は「浅草地域まちづくり総合ビジョン」における“賑わい創出プロジェクト”に位置付けられているかっぱ橋本通り(国際通り～昭和通り)及び馬道通り(江戸通り～言問通

り)において実施している。

平成24年度は、上記箇所での設計の実施に加え、現場における事前支障移設や電線共同溝本体工事等を本格的に実施していく。

△実施箇所及び内容

○かっぱ橋本通り（国際通り～かっぱ橋道具街通り）

修正設計等、事前支障移設補償

○かっぱ橋本通り（かっぱ橋道具街通り～昭和通り）

予備設計、詳細設計、試験掘調査

○馬道通り（江戸通り～言問通り）

詳細設計、事前支障移設補償、電線共同溝本体工事

(22) 緑と水辺を活かす隅田公園づくり（桜橋整備・園地整備）

(P. 279、P. 280)

桜橋整備 7,625万円

園地整備 1億2,236万円

(公園課)

《桜橋整備》

桜橋は、台東区と墨田区の架け橋として、昭和60年に完成して以来、多くの方々に親しまれており、今後、東京スカイツリーの開業に向けて、一層多くの方々の利用が見込まれる。

そこで、墨田区と連携し、桜橋の魅力アップに向けた照明施設の再整備を行う。

△対象箇所 隅田公園 桜橋

△所在地 今戸1丁目地先～墨田区向島2丁目地先

△事業概要 桜橋照明改修工事

《園地整備》

「浅草地域まちづくり総合ビジョン」や「台東区新観光ビジョン」に掲げる「緑と水辺を活かす隅田公園づくり」の方針に基づき、隅田川と東京スカイツリーを望む水辺空間と良好な眺望を活用して、やすらぎ、うるおい、にぎわいのある隅田公園整備を推進する。

△対象箇所 隅田公園

△所在地 花川戸1丁目1番～今戸1丁目1番

△事業概要

- 隅田公園Aゾーン（築山周辺）整備工事
- 公園休養施設等実施設計
- 隅田公園（遊具広場）実施設計

(23) 御徒町駅周辺地区整備（P.284）

9,679万円

（まちづくり推進課）

平成24年10月末に「（仮称）御徒町駅南口歩行者駅前広場」が全面オープンすることにあわせ、広場の地下に自転車駐輪場を設置する。また、広場に愛称をつけ、オープニングイベントを地元商店会等と協力し開催する。

△駐輪場整備内容

対象箇所：（仮称）御徒町駅南口歩行者駅前広場地下

整備面積：約600㎡

駐輪台数：200台（予定）

(24) 密集住宅市街地整備促進 (P. 284) 1億2,383万円

(地区整備課)

老朽木造住宅が密集している地域を事業地区に指定し、建築物の不燃化促進、防災区画道路やポケットパーク等の公共施設整備を行う。これまで平成23年度までとしていた事業期間を平成28年度まで延伸し、引き続き、事業の推進を図る。

また、これまでの取組みに加え、東京都建築安全条例に基づく新たな防火規制の導入等の検討を進め、不燃化を促進していく。

△事業地区 谷中二・三・五丁目地区 (28.7ha)

根岸三・四・五丁目地区 (33.2ha)

△事業期間 平成14年度～平成28年度

△平成24年度の主な事業内容

○谷中地区

道路拡幅及びポケットパーク整備に向けた関係権利者等調整

○根岸地区

道路新設（行止まり道路の解消、電線類地中化）及びポケットパーク整備

7 教育費

● (25) 台東区学校教育ビジョン策定 (P. 292) 278万円

(教・庶務課)

時代の変化や教育を取り巻く様々な環境変化による新たな課題に的確に対応し、学校教育等の一層の充実を図ることを目的として、本区における学校教育の理念と進むべき方向性を示す「台東区学校教育ビジョン」を策定する。

(26) 学力向上のための調査研究 (P. 296) 1,287万円

(指導課)

学力調査の対象教科を充実し、よりの確に児童・生徒の学習状況を把握するとともに、調査結果については、一層の学力向上が図れるよう継続的に分析等を行い、授業改善に活かしていく。また、引き続き児童・生徒・保護者に対してアンケートを実施し、総合的に教育課題の検証を行う。

△実施時期 平成24年4月

△対象教科

○小学校5・6学年 国語、算数に、理科、社会を追加し4教科に充実

○中学校3学年 国語、数学に、理科、社会、英語を追加し5教科に充実

(27) 台東保育園等大規模改修 (P. 142、P. 319、P. 320)

3億6,173万円

(人事課) (児童保育課)

施設が老朽化している台東保育園 (児童館・職員寮併設、昭和49年築) の耐震補強工事を含めた大規模改修工事を実施する。

△所在地 台東1丁目11番10号(職員寮は5号)

△施設概要

○台東保育園 1・2階

○台東児童館 3階

○台東職員寮 4・5階

△延床面積 1,607㎡

△スケジュール 平成24年度 大規模改修工事

平成25年3月 竣工予定

※台東職員寮は総務費に計上

(28) 第68回国民体育大会 (P. 335)

2,500万円

(青少年・スポーツ課)

平成25年開催の第68回国民体育大会 (スポーツ祭東京2013) において、台東区はフェンシング競技の会場地となっている。第68回国民体育大会台東区実行委員会では、本大会の開催に向けた準備を行い、大会運営を計画的に進めていく。

平成24年度は、本大会に先立って第68回国民体育大会フェンシング競技リハーサル大会「第65回全日本フェンシ

ング選手権大会（団体戦）」を開催する。

△日程 平成24年12月14日（金）～16日（日）

△会場 台東リバーサイドスポーツセンター体育館
（今戸1丁目1番10号）

《参考》

第68回国民体育大会の会期

平成25年9月28日（土）～10月8日（火）

※フェンシング競技日程：10月4日（金）～7日（月）

●(29) 旧田中小学校活用（P.337）

2,815万円

（青少年・スポーツ課）

旧田中小学校の既存施設を活用し、校舎1階の一部と3階並びに校庭を体育施設として、校舎2階の一部を演劇・芸能活動用の稽古場として整備する。また、整備にあわせて施設全体の耐震補強、バリアフリー化を行う。

平成24年度は、施設の耐震診断・補強設計・改修設計を行う。

△所在地 日本堤2丁目25番4号